

PRESS RELEASE



やまがたの上質ないいもの。
その魅力をもっと伝えたい。
この新しいブランドマークを旗印に、
山形のいいものの魅力を伝えていきます。

令和6年1月18日

県政記者クラブ報道機関 各位

山形県産業労働部産業創造振興課

地域課題解決を通して事業創出を目指す
山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業

事業創出第10弾

企業を通して地域や社会を学ぶAIプラットフォームの提供
「株式会社Ciel」設立

(本プロジェクトにおける山形大学発スタートアップ2社目)

令和4年度から実施している「ソーシャルイノベーション創出モデル事業」通称：Yamagata yori-i project(以後、yori-i project)では、新規事業創出の第10弾として、山形大学における研究で得た知見を用いて、高校生を主な対象に「企業を通して地域や社会を学ぶAIプラットフォーム」提供の事業化を検討する村上和隆氏（山形大学大学院理工学研究科（理学系）博士前期課程1年）を支援した結果、1月中に「株式会社Ciel」を設立することになりました。

つきましては、下記により記者発表を行いますので、取材・報道についてよろしくお願いたします。なお、当日は記者の方用に期間限定で使用できるアカウントを発行し、デモンストレーションを実施する予定です。

記

日時：令和6年1月22日（月） 11時～12時

場所：スタートアップステーション・ジョージ山形（山形市城南町1丁目1-1霞城セントラル2階）

- 出席者：
- 山形大学大学院理工学研究科（理学系）博士前期課程1年 村上和隆
 - 山形大学アントレプレナーシップ教育研究センター センター長 小野寺 忠司
 - 株式会社 next is east Chief Operating Officer、一般社団法人 KAIGO PRiDE 理事、
電動モビリティシステム専門職大学 准教授 小口貴幸（健康アジェンダ・アジェンダリーダー）

■ 概要

ある高校を訪問した際、膨大な求人票を見た時に、高校生の就職活動は大学生のように大手 SaaS を使えないことに違和感を持った村上氏は、その後、自身で調べていく中で、高校生を対象とした独自の就活システムは多くの問題を抱えていることに気がついた。

そこで、大学院での大規模自然言語処理モデルの研究を行う過程で得た知見をもとにその問題を解決できるのではないかと思いあたり、コーディネーターとして参加している yori-i project 内で事業化に向け検討を開始した。

その結果、yori-i project 内でのコンセプト検証等を通し、就職意志の有無に関わらず、社会の重要な構成要素である企業を知ることは将来的なキャリア形成にとっても重要であることから、企業を通して地域や社会を学ぶ AI プラットフォームを提供する新会社を設立することとなった。

新会社では、単なる求人募集では把握しきれない企業の魅力に高校生が触れる機会を提供するとともに、探究学習などにおいて地元企業が展開する事業の社会的意義を AI が最適に提供し学びをサポートする。加えて、企業にとっては、自社に興味を持ってもらいつつ将来の働く場として高校生からイメージしてもらおう接点を生み出すことになる。

■ Yamagata yori-i project について

yori-i project は、産学官や産業などのセクターを超えた力を結集しデータを基に取り組む課題解決手法「コレクティブ・インパクト」を軸に、多様化する地域課題の解決やそれに伴う新規創業・事業創出を活性化していくプロジェクトです。活動に共感頂いた行政・企業・個人がボードメンバーとしてプロジェクトに参画しており、その数は現在、150（個人含む）に及んでいます。

<参考 URL> <https://yori-i.org/>

■ 今後の記者発表予定

2月9日（金） 14時から15時30分 @鮭川村役場（予定）

テーマ：地域産農産物・バイオマス資源の畜産飼料の活用による域内循環プロジェクト

リーダー：(株) アルファテック

2月13日（火） 10時から11時 @金山町農村環境改善センター

テーマ：早生樹ヤマトダマの栽培によるバイオマス資源の確保

リーダー：(株) オウルテス

担 当：産業労働部 産業創造振興課
スタートアップ推進室
室長補佐 渡邊 (023-630-2364)
報道監：産業労働部次長 岡崎